

## 小 論 文

### 注 意 事 項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題は、全部で2ページである。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は申し出ること。)  
問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。また、別に解答用紙が1枚ある。
- 3 志望する学位プログラム名を解答用紙の所定欄に記入すること。
- 4 受験番号を解答用紙の所定欄に記入すること。
- 5 解答時間は、60分である。
- 6 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

2025年は全国的に猛暑が続く、新潟県内でも各地で最高気温が35℃を超える猛暑日を記録しました。夏には豪雨、冬には豪雪災害が発生しており、近年の異常気象は私たちの生活に大きな影響を与えています。

(1) あなたが志望する学位プログラム <sup>(注1)</sup> で学ぶことができる 知識や技術を活用し て、(2) 異常気象をもたらす「食」「住」に関わる課題をどのように解決できるでしょうか。以下に掲げる異常気象をもたらす事象や課題を参照し、(1)と(2)を明確にしながらから600字以内であなたの考えを述べてください。

注1) 工学部工学科に属する9つのプログラムのこと(機械システム工学プログラム、社会基盤工学プログラム、電子情報通信プログラム、知能情報システムプログラム、化学システム工学プログラム、材料科学プログラム、建築学プログラム、人間支援感性科学プログラム、協創経営プログラム)

(次頁へつづく)

#### 【異常気象をもたらす事象や課題】

- ・猛暑日が続く状況で、職場での熱中症対策が義務化された。
- ・エアコンの使用によってエネルギー消費量が大きくなり、経済的、環境的な負荷が増大している。
- ・温暖化対策として再生可能エネルギーの活用が注目を集めているが、各地で発電施設の建設にかかる周辺環境への影響が問題視されている。
- ・高温、少雨によって、近くに大きな河川がない山間地の水田では、ひび割れが発生し稲が枯れた。これ以外の多くの農作物にも生育不良がみられ、社会の混乱につながっている。
- ・少雨でダムの貯水率が著しく低下するなど渇水が進むと、緊急(応急)給水がなされることもある。
- ・集中豪雨による河川の氾濫が各地で発生し、田畑や建物等に大きな被害をもたらしている。
- ・豪雪、豪雨による交通、インフラの障害が発生し、物流の遮断や集落の孤立が発生した。
- ・災害や異常気象に関わる情報を、正確かつ容易に周知することが求められている。

令和8年度総合型選抜 小論文

工学部工学科

【出題意図】

- ・日常の話題や課題に対して関心を持ち、的確に問題を設定して論理的思考を伴い解決策を論じることができるか
- ・志望する分野について理解し、当該分野の技術・知識への関心を持っているか
- ・新潟大学の置かれている環境、地域の特性に興味や関心を持ち、社会に役立ちたいという志向があるか

について評価する

ただし、特定の地域に関する知識の有無を評価するものではない